

普及活動推進事業費

予算額	103,988千円	(前年度	88,263千円)
うち道費	67,591千円	(前年度	64,403千円)

1 事業の目的

本道農業の有利性を最大限に発揮し、高品質で安全・安心な農畜産物を安定供給するとともに、農業の6次産業化の推進など、地域の関係者と連携した農業・農村の活性化を図るため、地域ニーズに対応した普及活動や農作物の生育状況に応じた営農技術対策の発信、技術支援会議の活動など試験研究機関と連携した取組を実施するほか、普及指導員の資質向上のための研修を行う。

また、地域農業の課題解決に向け、北海道立総合研究機構農業研究本部と連携して、技術の体系化や普及など円滑な地域支援活動を実施するほか、農業の担い手のほぼ全てが先端技術を活用した農業を取り組むことができるよう、スマート農業の実証・普及を支援する組織の機能強化を図る。

2 事業の内容

(単位：千円)

区分	事業内容	事業実施主体	予算額
協同農業普及事業推進事業費	○巡回指導等、地域ニーズに対応した普及活動 ○普及指導員の調査研究活動 ○農作物の生育に応じた営農技術対策の発信 ○技術支援会議の活動等、試験研究機関と連携した地域支援 ○高度で幅広い技術や専門的な知識を有する普及指導員を養成するための研修	北海道	43,710 (39,462)
専門技術員活動高度化事業費	○道総研農業研究本部に在勤する普及指導員の活動推進及び機材整備	北海道	11,197 (9,291)
農業情報普及システム推進事業費	○農業情報ネットワークシステム関連情報機器の維持・管理	北海道	14,062 (12,355)
研究連携課題解決支援事業費	○道総研等と農業改良普及センターが連携して行う技術の体系化活動を共同事業として実施	北海道	16,947 (411)
スマート農業加速化実証プロジェクト事業費	○スマート実証農場の整備・実証を行うコンソーシアムの活動を支援	北海道	4,000 (0)
営農体系確立支援事業費	○先端技術を組み入れた新たな営農技術体系等の検討・検証を行う協議会への支援	生産者等により構成する協議会	8,000 (0)
スマート農業普及人材研修費	○国内の先端技術調査研究 ○普及指導員等を対象とした先端技術の実践研修への支援 ○農業大学校の学生が修得する先端技術に係る研修教育の機能強化	北海道	6,072 (6,072)
合計			103,988 (67,591)

3 事業実施期間

昭和47年度（1972年度）～

〔担当：農政部生産振興局技術普及課
(内線 27-804)〕